



発行 浮田地区コミュニティ会議  
電話&FAX 0198-42-1681

群れ少合うから年々一つのヒスが、一(実)  
の時期よ体見昨かニのヒすのヒ  
はくする集ま姿が種(兎)のヒすのヒ  
ウバユリ咲くついで花ない。吹いた(め)ま  
は咲くついで花ない。吹いた(め)ま  
ウバユリ咲くついで花ない。吹いた(め)ま



# ドラゴンアイを観て来ました！

生涯学習部主催の「春の八幡平ハイキング」は去る6月2日、講師に環境マイスターの似内功孝氏(花巻市)を迎え16人が参加して行われました。

車内で講師からアスピーテとは「噴火した溶岩がゆっくり流れた、傾斜の穏やかな火山」との説明を聞きながら頂上駐車場に到着。出発した時の曇天は一変、「珍しい程」の晴天で、眼下に広がる岩手富士や駒ヶ岳、茶臼岳、東北最高峰の山の宿「藤七温泉」など素晴らしい眺めでした。いよいよ登山の始まりです。バスを降りた一行は行き交う人との「コンニチワ！」の挨拶も軽やかに、所々の雪渓に足を取られながらドラゴンアイに向かいます。枝が下を向いているのは雪の重みの為と聞かされたアオモリトドマツの間を抜け鏡沼についた時は感動でした。

丸い沼の縁に沿って雪が溶け、真ん中に残る雪の瞳の不思議！正しくドラゴンアイです。見事な自然の造形に皆で「すごい！」を連発しました。「連れてきてくれたコミュニティに感謝です。寿命が十年延びました」とは八十歳を過ぎた女性参加者の言葉でした。誰かが飛ばすドローンを見上げながら八幡沼展望台で各自が手弁当昼食。眼にも腹にも楽しさいっぱいの春のハイキングでした。(浩)

## プロジェクト ブづくり 講習会を開催

東和町総合支所「男性学級」との共催で行われ、人氣が高く、受講者は地区内から12名のほか地区外からの8名に絞られました。講師は事務局の藤井が務め、ブリキ缶1個と煙突管を材料に作りました。参加



者が多彩でしたので、作ったストーブをどんな風にするかを尋ねてみました。「冬にサツマイモをおいしく焼いて食べたい」「外で燃やして、暖を取ったり湯を沸かして、スープを楽しまたい」「屋外で薪を燃やして、デイキャンプしたいの！薪を作れる山を持っている人が羨ましい」とも話していました。人は根っから火とか炎には魂が引かれるようです。涼しくなると共に、浮田地区内は元より市内各地で、今回ストーブづくりを習得した方々が、煙を上げて楽しんでる光景が見られます。(保)

# 「毒沢川の水生生物調査」 教振共催



7月10日、下浮田公民館脇の毒沢川で水生生物調査を行いました。保育園児・児童9名を含む参加者17名が、岩手県環境アドバイザー根子英郎先生(花巻市)から生き物のなまえや特徴、それから昨年の調査との比較結果などについて教えていただきました。「今回は15種類と少ないが、昨年の地点に比べると木や草の陰が多く、前日からの雨が降らなければもっと多くの生き物を見つけることが出来たと思う」とのこと。昨年

は見つけられなかったヌカエビやドブシジミ、川辺にはアオサギやヒヨドリも見られました。また、2年連続で見つけたアメリカザリガニについて先生は、「今年から『特定外来生物』に指定されたので、許可のない飼育や繁殖などしないよう気を付けましょう」と注意喚起なさいました。大人たちからは「今回のような子ども時代の体験が、地域のきれいな自然を守っていくという気持ちに繋がるといいね」という期待の声も聞かれました。(多)



# 作って味わう ピザと燻製教室



6月8日、振興センター常設のピザ窯で、自宅で簡単にできる作り方を14人が体験しました。講師はグリーンツurisムの藤本眞津子・藤井輝雄の両氏です。捏ねた生地が発酵する間に、百円雑貨利用の簡易燻製器で、鮭・鶏肉ささみの燻製作りに挑戦。生地をのびしピザソースを塗り、玉葱やトマト・出来立ての燻製、たっぷりのチーズをのせ、季節の山菜

トッピングピザは、甘味噌ソースでフキ・ワラビをチョイス。チーズがのびるアツアツを味わいました。ピザ窯周辺は草地。「実は食べられる野草がほら、あれもこれも！」と藤本氏は示す。シロツメクサ・ヒメジョオンにタンポポ・ヨモギ・ノカンゾウ…。「初めてピザ作ったけど家でも出来そう。トッピング色々試したい。簡単なのに本格的な味。屋外のピザ窯素敵！楽しい」は、受講者の声。(茂)



# 花壇作り なごみホーム浮田



安全と景観対策事業の一環として今年度もコミュニティ会議から花苗を配布しました。

今回の花壇作りはコロナ対策のため、入所者さんと職員さんのみで行われました。「苗の間隔をもう少し広くしようか」「黄色とオレンジ色を交互にしましょう」と気を配りながら植えられ、来所者を癒してくれる和み花壇が出来上がりました。(多)

### あの人 この人

## 農業団体「アラダ―農園下浮田組合」 代表 佐々木龍雄氏に聞く

浮田地区で、初めて設立された農業の担い手団体を紹介いたします。

ど地域でも耕作放棄地が増えています。当地区も農地を一手に引き受けていた委託先の不幸により、今後の農地管理について委託先の確保が喫緊の課題となりました。地域から賛同した構成員5人と繁忙期の協力員5人で、約9町歩の農

地を管理運営することとなり、令和元年から稼働しています。

現在農機具は個人の持ち出しで稼働していますが、今後は法人化を目指しながら、ドローン講習会での受講を生かした農機具の導入等を図り、遊休農地解消に一役かって地域の自然環境の保全を確保し、次世代に繋げてゆきたいと話されていました。



将来は、このような農業団体が増えると予想されます。先駆け団体として今後のご指導が期待されます。(秀)

## 隣町の大迫に行ってきました

6月15日に結いの里便り編集委員会の「馬(ま)っこつなぎ研修」に同行しました。目的は、この日二体

築百年の南部曲がり屋を改装した古民家の自然食レストラン「星耕茶寮(せいこうさりよう)」は、各部屋

りした。皆さん、これは隣町の大迫町のことです。隣の町のことも私はよく知らずにいた。

がリサイクルアートであふれ、大変興味を引くものが展示されて、「季節のお膳」も大変おいしかった。さらに、「早池峰と賢治」の展示館では、ここでしか見られない賢治の初稿や、当時宿泊した高級旅館の調度品をこっそり触らせてもらった

私は東和町内、浮田地区のことをどれほど知っているのかを考えているのかわかれない。考えることができる。

た馬を、神社や湧水、田などに置いて、五穀豊穡や家内安全を祈願する「馬(ま)っこつなぎ」と呼ばれる伝統行事です。久出入地区に残る馬っこつなぎを見学のと、



さらには、「早池峰と賢治」の展示館では、ここでしか見られない賢治の初稿や、当時宿泊した高級旅館の調度品をこっそり触らせてもらった

(中内 千葉和弘)



### リレー エッセー

## 人生 あれこれ

東和町毒沢に移り住んだのが昭和六十年。あれから三十六年という歳月が過ぎ時の流れの速さを感じている近頃です。

地域の方々に支えられ、今では、すっかり居心地の良い場所となっています。ゆったりとした生活の中で、四季を感じ、作物やお花を育てる喜びを味わえる日々感謝しながら。

これからの、どんな人生が待っているのか予測できませんが、ふと、「こいのぼり」のメロディーで浮かんだ替え歌。口ずさんでいたできれば嬉しいです。

一、ひと筋縄で行かないが生きてる事こそ価値がある人生山あり谷ありだ還暦過ぎて思う日々

二、苦しいことは忘れよう明るいことだけ考えて自然と笑いがこみあげる幸せあふれ若返る

(毒沢 小菅和子)

## ゆるゆると カントリーヘッジ (羊の生垣)

この冬の重たい雪を葉に受け、何度も地面近くまで倒されたビワの木。雪を払い助け起こした回数...

深緑の堅牢だった葉は茶枯れ、落ちていった。春が訪れても枯れ木のような姿のまま。根を切ってしまったのかも知れないと諦めかけた頃、小さなアマガエルがビワの木にいつもいるのに気がつく。まもり神が現れたと感、見護る。

最初の兆しは、地面近くの幹に見つけた白く小さな突起。ゆっくりゆっくり何日もかけて天使の羽のようになり伸びていき、ビワの葉になつていった。

いま地面から1mまでの幹には小さな突起からはじまった葉が、緑の色を濃くし強い陽光を受けている。次の冬には、雪の重さで倒れぬように支えをつくらう。温暖な地の樹木にこの地で生きてもらうため。考

え得る、できることをしていこう。地球規模でも同じこと。かとひとりごち。

(山本 実紀)

# ☆星空観察会

8月7日(土)、奥州市の奥州宇宙遊学館 星空ナビゲータ「ホシミネスカ」の山田さんと新田さんを講師にお迎えしました。当日は、雲の切れ間からたくさん星が見え、10家族24名の皆さんと浮田の夜空を楽しみました。

下浮田の千葉真知子さんによる「七夕物語」絵本の読み聞かせ。講師からは、映像と解説でこの時期に見られる星や天の川の説明を頂きました。その後、参加者が工作で「星空シート」



を作り、旧浮田保育園園庭で星の観察を行いました。星を見ながら、「流れ星が見えた」「目が慣れたらいっぱい星が見えてきた」「虫の声がする」など楽しい会話が聞こえました。

夜空にちりばめられた星を眺めながら、あらためて浮田の豊かな自然を感じた夕べでした。講師から「浮田は星を見るのにもとても適しているこの環境は宝物。ぜひ大切にしてほしい」というお言葉を頂戴しました。(美)

## コロナに負けるな! グラウンドゴルフ 2nd大会

6月19日旧浮田小学校グラウンドで開催の本大会には、ワクチン接種日が重なったため、22人と控えめの参加ではありましたが全員楽しくプレーしました。

当日の結果(敬称略)  
優勝 藤井安子(中内)  
準優勝 小菅勸(毒沢)  
第3位 平野米夫(石宮)  
(輝)

## 事務局だより 「遊報」

消防署から次のようなお知らせが来しました。

住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう。消防法では、平成18年6月1日から新築住宅に、平成23年6月1日からはすべての住宅に、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

この住宅用火災警報器、10年を目安に交換することが推奨されています。皆様のお宅の住宅用火災警報器は、設置されてから何年経っていますか?この機会に確認してみましょう。  
詳しくは事務局にお問合せ下さい。  
(輝)



## 煙突倶楽部の 活動紹介

今年度から市より委託を受けて、煙突倶楽部では旧浮田小学校グラウンドと周辺、旧浮田保育園の草刈りを行っています。メンバーが一緒に活動することで、次の活動へのステップアップを図っていきます。(輝)



## 編集後記

近頃は各地で豪雨災害が起き、突然の雷雨から降雹と目まぐるしく変わる天候でしたが、梅雨明けしてからは連日の猛暑で、体にはこたえますネ。口をついて出てくるのは「昔はこんなに毎日暑くなかったネ」が挨拶がわり。

さて、私はちよつとした不注意からこの夏、冷房の効いた所へ入院体験。看護師さんが毎日同じように病气や怪我、障がいや老いを抱える患者さんに接する姿に感謝!

私は自然体で生活してきましたが、これからは気を付けて自分を守ることが必要だなと感じました。(二三恵)

- 編集委員長 平野 秀明(上浮田)  
編集委員 平野 浩一(宮田)  
平野 保(毒沢)  
山本 実紀(毒沢)  
藤井 茂(毒沢)  
千葉 美恵(下浮田)  
千葉 二三恵(中内)  
山口 友恵(宮田)  
題字 千葉 稔(下浮田)  
事務局 藤井 輝雄(中内)  
小田島 多賀子(下浮田)